

稼げる農業の推進【一部新規】

予算額 1,894,000千円
(R7 1,692,300千円)

(参考 2月補正 1,070,800千円 2月補正と当初あわせ 2,964,800千円)

概要

担 当 課：農林水産部 ①生産振興課(1,2,3,5,6)、②担い手支援課(4)
問い合わせ先：①043-223-2880、②043-223-2905

「稼げる農業」の実現に向け、本県農業をけん引する経営体の育成を図るため、規模拡大等を目指す農業者をソフト・ハードの両面から集中的に支援します。

1 「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業 330,000千円

[補助対象] パイプハウス等生産用
施設や園芸用ハウス等
の鋼材等の改修 等

[補 助 率] 1/4以内、1/3以内



(低コスト耐候性ハウス)

2 共同利用施設の再編集約・合理化推進事業 883,000千円

[補助対象] 集出荷貯蔵施設、
乾燥調製施設 等

[補 助 率] 1/2以内 等



(集出荷貯蔵施設)

3 ちばの園芸高温対策緊急支援事業 100,000千円

[補助対象] かん水や換気、遮光・
遮熱に効果のある機械・
装置 等

[補 助 率] 1/3以内、1/2以内(低コスト
耐候性ハウス等に導入する
場合)



(遮光ネット)

4 アグリトップランナー経営塾事業【新規】4,000千円

[補助対象] ・農業経営に必要なビジネス知識やスキルに
関する講座の開催に要する経費
・受講期間中のサポート体制の構築や、卒業生
の交流を促進する取組に要する経費

[補 助 率] 定額

5 千葉県園芸産地パワーアップ事業 350,800千円

[補助対象] 野菜集出荷貯蔵施設、
機械導入 等

[補 助 率] 1/2以内



(左：選果機 右：集出荷貯蔵施設)

6 千葉県農産産地パワーアップ事業 226,200千円

[補助対象] 水稻乾燥調製施設、
機械導入 等

[補 助 率] 1/2以内



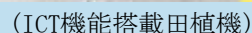
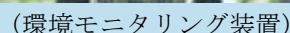
(左：コンバイン 右：乾燥調製施設)

問い合わせ先：①043-223-2880、②043-223-2984

農林水産業の生産性の向上や作業の省力化を図るため、スマート技術を活用した取組を支援します。

[補助対象] AI、IoT等の情報通信
技術を活用した田植機・
コンバイン 等

[補助率] 1/3以内
(補助上限額8,000千円)



(プラットフォームのイメージ図)

労力不足、規模拡大、収量増加などの課題解決を図るため、スマート農業技術の体系化に向けて現地実証を行います。

概要

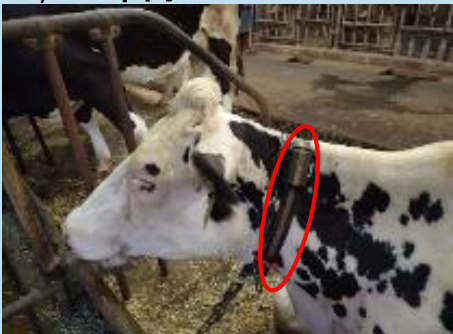
担当課：農林水産部 ①畜産課（スマート畜産推進事業）
②水産局水産課（スマート水産業推進事業）
問い合わせ先：①043-223-2929、②043-223-3041

2 スマート畜産推進事業【一部新規】20,000千円

畜産業における生産性の向上と作業時間の短縮を図るため、スマート農業技術の導入に対し支援します。

(1) スマート畜産機器の導入支援 13,000千円

[補助対象] 作業時間短縮等に資する機械・装置等のスマート農業技術の導入
[補助率] 1/3以内



（発情発見システム※赤枠内の機器）
※首に付けた機器により牛の活動量を計測・分析して発情を発見する。

(2) スマート畜産モデル事業【新規】7,000千円

[補助対象] 以下の効率化・省力化に資する機器
酪農：乳頭洗浄作業
養豚：豚舎洗浄作業
[補助率] 1/2以内



（畜総研で開発協力した現地実証対象機械）

3 スマート水産業推進事業 13,300千円

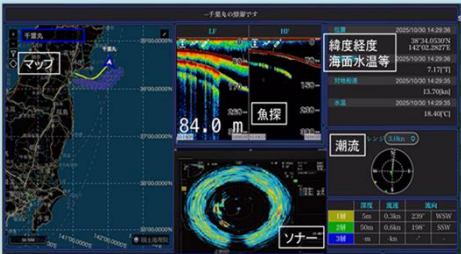
水産資源の持続的利用、所得の向上、担い手の維持を実現するため、漁業調査船が観測した海況情報のリアルタイム配信や急潮予測情報の提供など、漁業者の効率的な操業の支援につながるようなスマート水産技術の導入を推進します。

(1) 急潮予測システム保守管理 4,400千円

急潮による定置網被害を防止するため、漁業者等に対し急潮予測システムにより情報提供を行います。

(2) 漁船漁業操業支援スマート化事業 4,900千円

漁業調査船に衛星通信装置等を導入し、漁業者に対してクラウドを介して魚群の位置情報等の観測データを提供することで、漁業者の利便性向上を図ります。



（リアルタイムで配信する画像）

(3) デジタル操業日誌運用事業 3,800千円

漁具に設置した観測機器を用いて、操業で把握した海底の水温などの環境データと漁獲した魚の種類・量などの漁獲データを集計・解析し、結果を漁業者へ迅速に情報提供することで、操業の効率化を図ります。

概要

担当課 1：農林水産部生産振興課 担当課 2～4：農林水産部担い手支援課
問い合わせ先：043-223-2980 問い合わせ先：043-223-2907

温暖化の進展による収量の減少や品質の低下を防ぐため、水稻の高温対策に係る技術について、県内の農家と連携して検証を行うほか、露地野菜やさつまいも等の安定生産技術の確立に向けて、農林総合研究センターでの基礎研究を進めます。

1 水稻の高温対策実証事業 1,500千円

水稻の高温対策に係る技術（肥料や水の量等）について、県内の農家と連携して検証を行います。



肥料散布のためのドローン散布の実演 高温被害の例（白未熟粒）



2 露地野菜の安定生産技術の確立 1,750千円

千葉県が生産量上位（1位～3位）で、高温の影響が出ている、ねぎ・にんじん・キャベツ・落花生について、高温に適した種まきや収穫の時期、かん水の量やタイミング等を見出す研究等を行います。



にんじんの発芽不良



正常な莢（左）と空莢（右）

3 さつまいもの品質安定化技術の確立【新規】 1,650千円

さつまいも空洞症の原因を解明し防止技術を確認するとともに、貯蔵管理技術に係る研究等を実施します。



正常なさつまいも



空洞症が発生したさつまいも

4 なし「秋満月」の長期貯蔵技術の開発【新規】 100千円

高温条件下で収穫された秋満月を異なる温度で貯蔵した場合の貯蔵性を明らかにします。



収穫期のなし（秋満月）

担 当 課：農林水産部 (1) 生産振興課 (2) 環境農業推進課
問い合わせ先 (1) 043-223-2880
(2) 043-223-3080

概要

さつまいもの生産拡大・品質向上のため、定温貯蔵庫等の整備支援及び本県におけるサツマイモ基腐病の発生防止に取り組みます。

1 千葉のさつまいも品質向上支援事業 100,000千円

国内外ともに需要が拡大しているさつまいもについて、生産拡大と品質向上に必要な施設整備を支援します。

[補助対象] 定温貯蔵庫、蒸気ボイラー等キュアリング処理※に資する機械

(定温貯蔵庫と一体的に導入する場合に限る)

※キュアリング処理とは、収穫したさつまいもを一定期間、高温高湿度などの条件で処理することにより、傷口にコルク層を形成して腐敗を防ぐことで、長期保存を可能にする技術。

[補 助 率] 1/3以内

[事業主体] 認定農業者、認定新規就農者、農業協同組合 等



定温貯蔵庫（外観）



定温貯蔵庫（庫内）



蒸気ボイラー

2 サツマイモ基腐病防除対策事業【新規】15,000千円

甚大な被害を及ぼす恐れのあるサツマイモ基腐病が、近県で発生したことを受け、本県での発生を防ぐため、感染した苗を「持ち込まない」ことに重点をおいた対策を実施します。

(1) 基腐病に関する啓発の実施 6,000千円

市民農園等の栽培者に対する啓発や、苗販売店への協力依頼、WEB広告を活用した注意喚起を行います。

(2) 健全な苗の生産・流通実態調査 4,000千円

健全苗の確保に向け、苗の生産・流通状況等の実態調査を行います。

(3) まん延防止に向けた早期封じ込め 5,000千円

家庭菜園・市民農園等でもご注意
さつまいもにこんな症状はありませんか？
もとぐされびょう

サツマイモ基腐病

年間を通して、写真と似た症状を確認したら
最寄りの農業事務所に御連絡ください！

地下部の茎が黒く変色します
地際部が黒に、葉が黄や赤に変色して枯れます

啓発資料のイメージ・病気に感染した苗

千葉県 基腐病 検索



千葉県HP
(サツマイモ
基腐病に関する
情報)

概要

担 当 課：農林水産部畜産課
問い合わせ先：043-223-2929

夏季の猛暑により家畜の生産性が低下していることを踏まえ、更なる暑熱対策の推進を図るため、畜産農家と連携した実証を行うとともに、実証結果を踏まえた技術研修会を開催します。

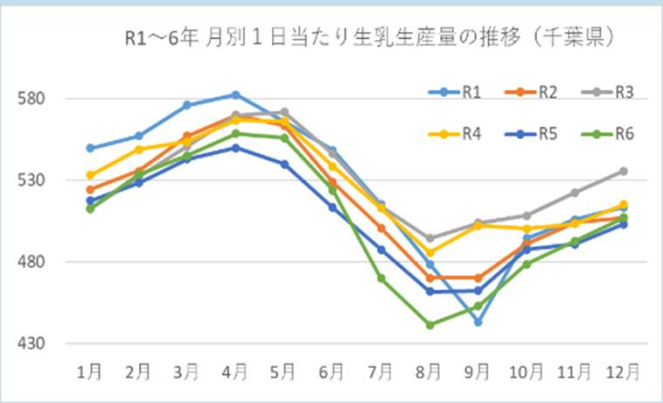
1 暑熱対策実証事業 18,000千円

県内の畜産農家がより効果的な暑熱対策を実施できるよう、本県ではまだ普及が進んでいない対策について畜産農家と連携して実証を行います。
[補 助 率] 1/2以内（畜産農家のモデル対策導入を支援）

2 技術研修会の開催等 2,000千円

対策モデルを導入した畜産農家へ指導等を行うとともに、実証内容や結果について、県職員向けの技術研修会を開催します。

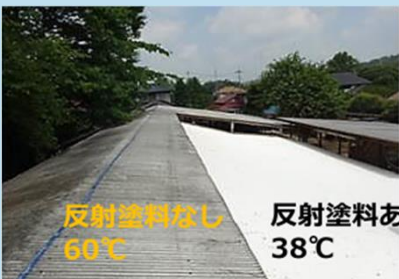
〔月別1日当たり生乳生産量の推移（千葉県）〕



〔現在の対策例〕



乳牛での送風機の設置



畜舎屋根への遮熱材の塗布

〔モデル事業で実施する対策例〕



畜舎屋根裏への遮熱シートの施工



施工前



施工後



乳牛でのソーカーシステム※導入

※牛体を水で濡らすための機器。
風を当て、気化熱により牛体を冷やす。

概要

担 当 課：農林水産部畜産課
問い合わせ先：043-223-2929

畜産総合研究センターについて、建物や設備の老朽化への対応や近年の気候変動や家畜疾病などを踏まえた試験研究を行うため、県が策定する基本構想に基づき、具体的な施設整備の方針なども含む基本計画の策定に向けて調査を実施します。

【調査概要】

1 現況調査

- ・建物や畜舎等の施設構造や配線配管等の状況調査
- ・嶺岡乳牛研究所移転候補地の地形等を調査

2 建設事業計画の策定

- ・各研究所における事務棟や畜舎等のレイアウトの検討
- ・効率的な畜舎の建替え及び整備手法の検討
- ・工事全体計画書の作成

3 関係法令の確認

- ・建築基準法や農地法等の関係法令の調査
- ・規制及び遵守事項の整理

4 概算工事費の算定

【千葉県畜産総合研究センターの主な研究・業務】

①本所（八街市）



乳牛の飼養管理
技術の研究



優良種豚の造成
（ボウソウL4）

②市原乳牛研究所
（市原市）



県内酪農家の後継牛を受託し、
放牧育成と繁殖管理を実施

③嶺岡乳牛研究所
（南房総市）



優良な乳用牛の受精卵を供給

概要

担 当 課：農林水産部農地・農村振興課
問い合わせ先：043-223-2878

企業の農業生産への参入を促すため、遊休農地等条件の悪い農地の整備に要する経費の一部を助成します。また、企業参入に関する研修会の開催や市町村等への企業参入アドバイザーの派遣により、地域での農業参入の受け入れ体制構築を支援するとともに、農業参入フェア等への出展を通じて企業のニーズや情報を収集し、円滑な参入を促します。

1 農業参入促進農地整備モデル事業 10,000千円（R7年度6月補正後 10,000千円）

遊休農地等を活用して、企業参入を促すため、整備に要する経費の一部に対して補助を行う。

【補助対象】 農業参入を希望する企業による遊休農地等の整備に必要な経費を補助する市町村

【主な事業要件】

対象農地： 田又は1号遊休農地を50%以上含む1ha以上のまとまった農地であること

対象経費： 対象農地を耕作に適した農地へ整備するために必要な経費
(整地工、客土工※、法面整形工 等)※土購入費は対象外

【補助率】 1/4以内(市町村が県と同額以上補助する場合に限る)※1件当たり5,000千円が上限

【実施期間】 令和7年度から令和9年度まで

2 地域における農業参入受入れ体制サポート事業 3,200千円【新規】

市町村・農業委員会等の職員に対して、農業関係のコンサルタント等企业参入支援の実績がある専門家を講師とした研修会を開催し、企業参入に関する基礎的な知識の習得を図る。

また、地域における話し合い等に専門家を派遣し、企業参入への理解を深めてもらうことにより、企業の受入れに向けた地域における円滑な合意形成のための体制づくりを推進する。

3 農業参入フェア等への出展事業 4,800千円【新規】

東京・大阪で開催される「農業参入フェア」や幕張メッセで開催される「農業WEEK」等に出展し、本県への参入ニーズの把握、他県の取組事例収集を行い、企業参入の促進を図る。

※農業WEEK：例年、幕張メッセで開催されている、農業関係では日本最大の展示会で、日本国内外から生産者、企業、官公庁等が多数来場し、出展者と来場者間で活発な商談等が行われています。

1号遊休農地

現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地

軽度(緑区分) ← 荒廃程度により細分化 → 中度(黄区分)



軽度荒廃(緑区分)イメージ 中度荒廃(黄区分)イメージ



概要

担 当 課：農林水産部農地・農村振興課
問い合わせ先：043-223-2862

高齢化や後継者不足等による耕作者の減少や遊休農地の増加に対応するため、農地の耕作状況等を衛星画像で判別するシステムの実証を行うとともに、遊休農地の解消に向けて市町村等が実施する再生作業等に要する経費の一部を助成します。

1 遊休農地リモートセンシング導入モデル事業 5,000千円

衛星データをAIにより解析し、農地の耕作状況を判別することが出来るシステムの導入をモデル地域で実証し、市町村の農地利用状況調査の効率化や、所有者と耕作者とのマッチングへの活用に向けた検証等を実施します。

〔モデル地域〕 県内2地域程度

〔事業内容〕

- (1) モデル地域でのシステム導入実証
- (2) 市町村を対象としたシステム導入に向けた実演会の開催

システムの使用イメージ



2 荒廃農地再生支援事業 15,000千円

遊休農地（荒廃農地）を解消する市町村等に対し、再生作業、簡易な基盤整備、土壌改良等に要する経費の一部を助成します。

〔実施主体〕 市町村、地域協議会等

〔補助率〕 1/2以内（上限1,000千円）

〔対象農地〕 農業振興地域内の荒廃農地

1号
遊休農地

現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地

軽度
(緑区分)

荒廃程度により細分化

中度
(黄区分)



本事業により、既存国庫事業の対象外農地も補助対象に追加



本事業により、新たに補助対象に追加

概要

担当課・問い合わせ先
農林水産部 水産局水産課 043-223-4504
環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課 043-223-3948

水産資源や環境保全の重要性について、県民の意識醸成を促すとともに、本県の多様な水産物や海の魅力を全国にPRし、県内水産業の振興と地域の活性化を図るため、令和9年度に「第46回全国豊かな海づくり大会」を本県で開催します。
令和8年度は、大会の円滑な開催に向け、県・関係市町村・関係団体等で構成する実行委員会において実施計画を策定するほか、大会1年前プレイベントなどを行います。

1 大会開催事業 62,765千円

- (1) 実行委員会運営費 1,236千円
大会を円滑に開催するため、企画及び運営に関する事項の審議・議決を行う実行委員会を運営します。
- (2) 企画運営・広報費 61,529千円
大会を県内外に周知し、認知度向上を促進するとともに、県内での機運醸成を図ります。

2 試験調整事業 13,735千円

- (1) 種苗生産試験費 7,345千円
大会関連行事で使用する種苗の生産試験を行います。
- (2) 連絡調整費 6,390千円
大会推進に当たり、先催県の調査を行うとともに、関係市町村や関係団体等との調整を行います。



〔1年前プレイベント（大阪府）〕



〔大会記念リレー放流〕

- ・大会実施計画、宿泊・輸送計画等の策定
- ・1年前プレイベントの開催
- ・大会記念リレー放流の開催（稚魚の放流） 等

【参考】

- 開催時期 令和9年秋季
- 開催場所 式典行事 千葉県東総文化会館（旭市）
海上歓迎・放流行事 銚子漁港（銚子市）

「おいしい！千葉の農林水産物」プロモーション事業【一部新規】

予算額 153,152千円
(R7 151,152千円)

概要

担 当 課・問い合わせ先

1～3、6	農林水産部 販売輸出戦略課	043-223-2959
5	農林水産部 畜産課	043-223-2929
4	農林水産部 水産局水産課	043-223-3038

県内外の消費者に向けて、県産農林水産物の魅力を一層発信するため、「千葉県の顔」となる品目を核とした集中プロモーション等を行い、消費者に選ばれるおいしい千葉の農林水産物としてのイメージアップに取り組みます。

1 「千葉県の顔」となる品目のブランディング推進 99,900千円

県産農林水産物が消費者から優先的に選ばれるよう、日本なし、さつまいも、県産豚肉など、県全体のイメージアップに繋がる品目を核として集中プロモーション等を行い、認知度向上や消費拡大に取り組みます。



日本一の千葉の梨

2 千葉県フェアの開催や多様化するニーズに対応した販売力の強化 17,020千円

量販店等での「千葉県フェア」の開催や、企業と生産者のマッチング、産直ECサイトを活用した販売促進など、多様な販売チャンネルを開拓し、県産農林水産物の販売促進を行います。



紅(ルージュ)のご褒美
～千葉県産さつまいも～

3 県産農林水産物ポータルサイトの構築【新規】 8,000千円

県産農林水産物の魅力を消費者に広く発信するため、既存のWEBサイト等を集約・整理し、新たなポータルサイトを立ち上げることで、効果的な情報発信を図ります。



量販店における
「千葉県フェア」

4 水産物販売促進対策事業 12,600千円

「さかなの日」※に合わせた、県産水産物の料理教室や販売・PRイベントの開催など、県産水産物の消費拡大や魅力発信に取り組みます。※水産庁では毎月3日から7日までを「さかなの日」とし、水産物の消費拡大に向けた活動の強化週間に位置付けています。



県産牛乳の配布シーン



おさかな料理教室

5 県産畜産物販売力強化事業 1,652千円

商業施設等での県産畜産物のPRイベントや、酪農家を応援するための絵手紙コンクール等を開催し、県産畜産物の消費拡大と畜産農家の生産意欲向上を図ります。

6 ちばアクアラインマラソン開催に伴うPR事業 4,800千円

概要

担 当 課：農林水産部 販売輸出戦略課
問い合わせ先：043-223-2959

県産農林水産物の海外への輸出を販路拡大の一つと位置付け、輸出ポテンシャル品目を中心に、海外市場への展開を図るとともに、輸出に取り組む生産者・生産者団体等への支援を行うことで、県産農林水産物の輸出を促進します。

1 輸出ポテンシャル品目の海外市場への展開 33,300千円

台湾での商流強化に向けて、現地でのプロモーション等を実施するとともに、輸出ターゲット国・地域での新たな販路開拓に向けて、生産・流通・販売の各段階に必要な支援を行います。



台湾での梨のプロモーション

2 輸出に取り組む生産者のリーディング事例構築事業【新規】 15,000千円

輸出拡大意向を持つ生産者・生産者団体等を対象に、専門家による継続的な伴走支援を通じ、試験輸出やテスト販売の実施、経営戦略の中に輸出を位置付ける等の支援を行います。



カンボジアでのいちごのテスト販売

3 輸出に取り組む生産者団体等への助成 20,800千円

①千葉の農林水産物輸出促進事業

県産農林水産物の輸出にチャレンジする生産者団体・事業者が行う、海外での販売促進活動や試験輸出等の取組、輸出に必要な施設・機械等の整備などに対して助成します。〔補助率：1/2以内〕

②千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会への助成

県内農林水産事業者・食品企業等で構成する同協議会（事務局：ジェトロ千葉）が行う、海外での見本市への出展や商談会の実施、輸出実務の支援等に対して助成します。〔補助率：定額〕

4 輸出EXPOへの出展 5,800千円

国内最大級の食品輸出見本市である「輸出EXPO」に千葉県ブースを出展し、県内事業者の海外への取引先の開拓を支援し、県産農林水産物・食品の輸出拡大を図ります。



輸出EXPOへの出展

概要

担 当 課：①農林水産部生産振興課・②県土整備部公園緑地課
問い合わせ先：①043-223-4532（出展に係る全般的事項について）
②043-223-3995（屋外出展に係る基盤整備について）

国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に各国で開催されている国際園芸博覧会が2027年に横浜市で開催予定となっています。本県の花植木をはじめとした豊かな自然や地域の魅力を国内外に発信するため、出展に向けて必要な準備を進めます。

「2027年国際園芸博覧会」の概要及び、県の出展内容

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（神奈川県横浜市、約100ha）
開催期間：2027年（令和9年）3月19日（金）～9月26日（日）192日間

＜県の出展内容（予定）＞

（1）屋外出展：敷地面積300㎡に、庭園や花壇などを展示します。
（2）屋内出展：時期に合わせた県産の多種多様な花き等を展示します。



（屋外出展のイメージ）

- 1 屋内展示に係る経費 47,600千円（債務負担行為 75,000千円）
時期に合わせた様々な展示内容の企画や設営・管理を行います。
- 2 屋外展示に係る経費 51,600千円
本県の花植木をはじめとした豊かな自然や地域の魅力を国内外に発信するため、屋外出展のための庭園を整備します。
- 3 機運醸成の実施に係る経費 5,000千円
出展に向けて、県内の園芸ポテンシャルの再認識を図るなど、機運醸成を高めるための取組を実施します。
- 4 催事イベントの実施に係る経費 16,000千円（全額債務負担行為）
県内各地域の魅力発信や花植木業界の発展のため、開催期間中に会場内の催事場等を活用し、ステージイベントやワークショップを実施します。



（屋内出展のイメージ）



（機運醸成のイメージ）

道路ネットワーク事業

予算額	80,299,905千円
(R7	75,486,760千円)
(債務負担行為	35,274,000千円)
(参考 2月補正 5,637,500千円 2月補正と当初あわせ	85,937,405千円)

(参考 2月補正 5,637,500千円

担当課・問い合わせ先：

県土整備部道路計画課	0 4 3 - 2 2 3 - 3 2 8 7
県土整備部道路整備課	0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 7 1
県土整備部道路環境課	0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 4 0

概要

県民生活の利便性向上を図り、道路交通の安全・安心を確保するとともに、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、多様な交流・連携を支える道路ネットワークの整備を強力に進めます。

(令和8年度当初及び2月補正で実施する主な事業)

- ・北千葉道路
(印西市～成田市間)
橋りょう・道路改良工事等を行います。
- ・銚子連絡道路 (匝瑳市～旭市間)
アクセス道路の調査設計や未事業化区間の用地先行取得等を行います。
- ・長生グリーンライン (茂原市～一宮町間)
早期着工に向け、用地取得や詳細設計を進めます。

【国直轄事業】

- ・首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)
大栄JCT～松尾横芝IC間の高架橋整備や道路舗装等を行います。
- ・北千葉道路 (市川・松戸区間)
用地買収等を行います。



1. 千葉県港湾戦略策定事業【新規】

予算額 30,000千円
(債務負担行為 70,000千円)

2. 千葉ポートパーク等の活性化に向けた官民連携調査事業【新規】

予算額 38,000千円

概要

担当課：県土整備部港湾課
問い合わせ先：043-223-3831

1 千葉県港湾戦略策定事業

成田空港の「第2の開港プロジェクト」や広域道路ネットワーク整備の進展など、本県港湾を取り巻く環境の変化に対応するため、港湾の中長期的な発展に向けた戦略を策定します。

[対象]

県内7港湾（千葉港、木更津港、名洗港、館山港、上総湊港、浜金谷港、興津港）

[実施内容]

- ・港湾の現状、課題分析
- ・港湾利用に関する需要の推計
- ・経済波及効果を踏まえた将来像の検討

[スケジュール]

令和8年度：関係者ヒアリング、将来像の検討・とりまとめ

令和9年度：港湾特別会計の収支計画検討、戦略の策定



＜県内7港湾＞

2 千葉ポートパーク等の活性化に向けた官民連携調査事業

千葉ポートパーク及び周辺地域の一体的な活性化を図るため、官民が連携して、千葉ポートパークと県立美術館や「さんばしひろば」等との回遊性向上の方策、千葉ポートパークに求められる機能や必要な施設整備等について調査検討を行います。

[実施内容]

- ・民間事業者の参入意向調査
- ・官民連携手法、事業スキームの検討
- ・基本計画の作成
- ・ランドデザインの策定



＜一体的な活性化を図る地域＞

概要

担当課：総合企画部水政課
問い合わせ先：043-223-2276

令和8年4月からの県営水道の料金引上げをふまえ、繰出し基準に基づく県営水道事業への出資（水道管路の耐震化事業等が対象）を再開します。また、九十九里地域・南房総地域の用水供給事業体と県営水道が同じく4月から統合することに伴い、この統合に関する市町村等との協定に基づき、経営安定化を図るため、県営水道用水供給事業への繰出しを行います。

1 県営水道事業への出資金 5,978,500千円
総務省の繰出基準に基づき水道管路の耐震化事業や自家発電設備事業などに繰出を行います。



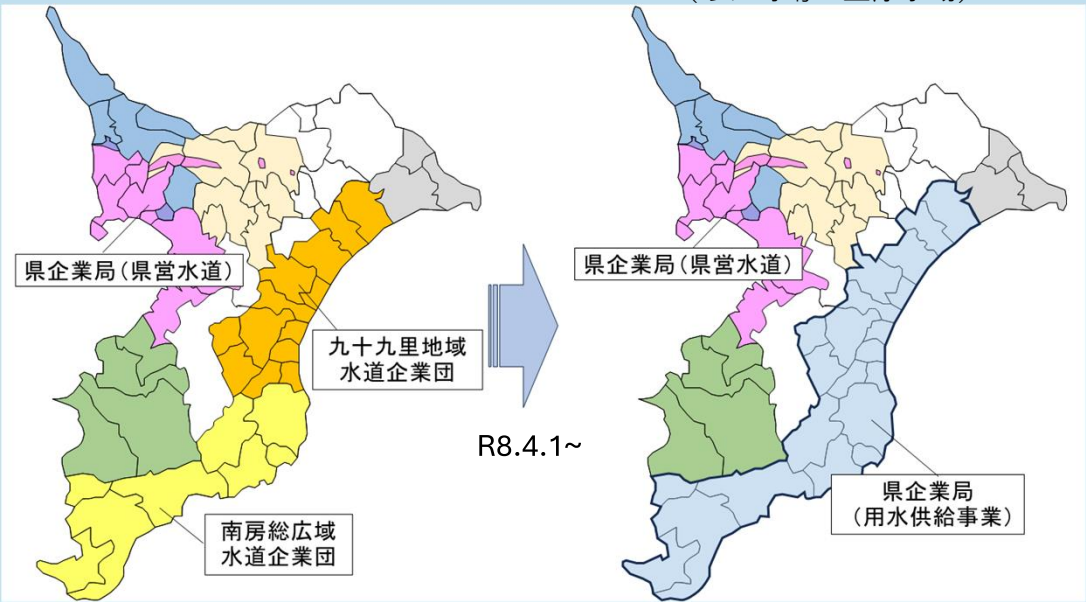
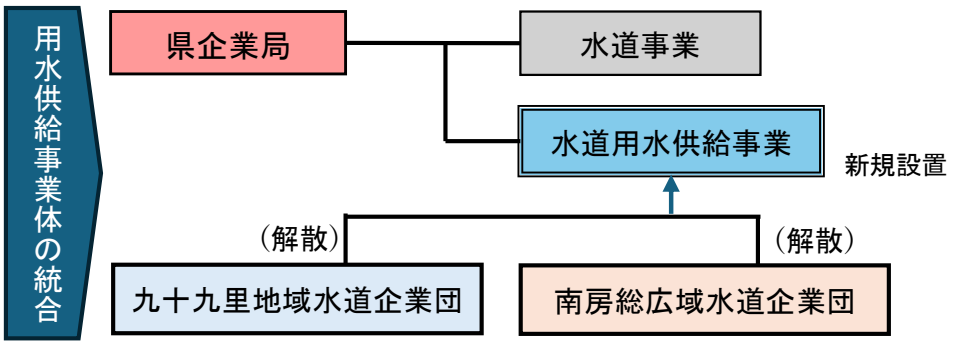
〔水道管路の更新・耐震化工事〕



自家発電設備
(ちば野菊の里浄水場)

2 県営水道用水供給事業への繰出金 1,986,095千円
九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合に関する基本協定書（R7.1.27）に基づき、県営水道用水供給事業の経営安定化のため、統合後10年間（R8～17）の下記の項目を定額支出します。

- (1) 市町村水道総合対策事業補助金の振替分 1,756,095千円
- (2) 県追加負担金 230,000千円



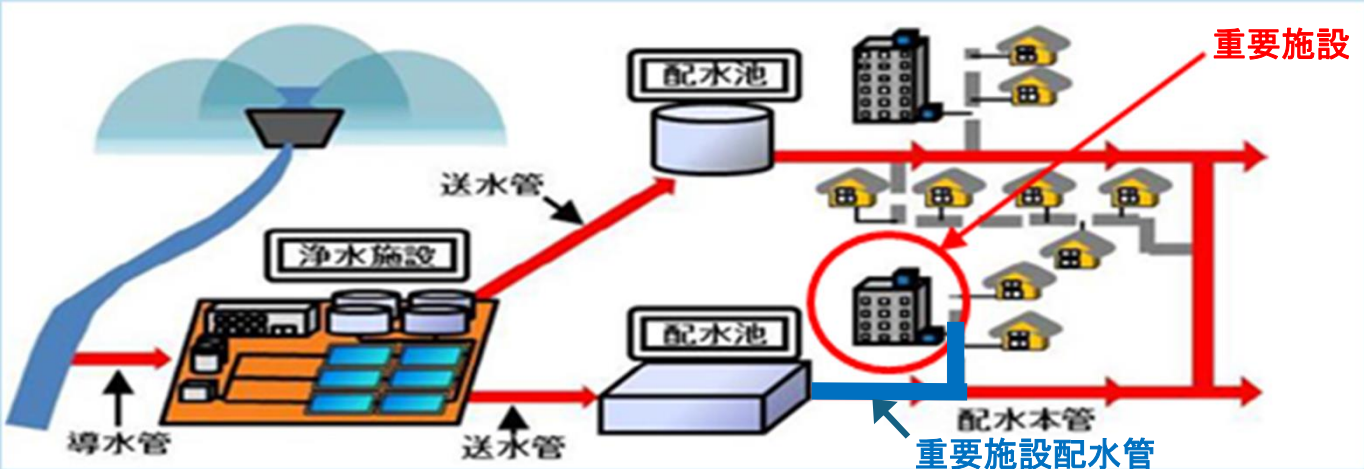
概要

担 当 課：総合企画部水政課
問い合わせ先：043-223-2276

能登半島地震の被害状況を教訓として、県内水道事業体における管路の耐震化を促進するため、水道事業体が行う耐震管の整備に要する経費に対し、国の補助に県独自の上乗せを行うことによって、令和7年度から令和11年度までの5年間で集中的に支援します。

事業名	補助対象事業	国交付率	県交付率 ※	合計交付率
重要施設配水管	災害拠点病院、避難所、防災拠点など、災害時に給水優先度が特に高い施設に水道水を配水する配水管（配水支管も含む）であって、耐震機能を有するものを整備する事業	1 / 3	最大 1 / 6 〔統合・広域連携実施〕 最大1/3	最大 1 / 2 〔統合・広域連携実施〕 最大 2 / 3
導水管・送水管耐震化事業	導水管又は送水管を耐震化する事業	1 / 3	最大 1 / 6 〔統合・広域連携実施〕 最大1/3	最大 1 / 2 〔統合・広域連携実施〕 最大 2 / 3
水道管路緊急改善事業	布設後40年以上経過した铸铁管、石棉管、鉛管、コンクリート管、塩化ビニル管、ダクトイル铸铁管、鋼管、ポリエチレン管であって、配水本管に布設されている管路の更新事業	1 / 4	最大 1 / 8 〔統合・広域連携実施〕 最大1/4	最大 3 / 8 〔統合・広域連携実施〕 最大 1 / 2

※県の交付額は、過去5年間に国庫補助事業として採択された重要施設配水管又は水道管路緊急改善事業の国交付対象事業費の平均を上回る額



概要

担 当 課：総合企画部交通計画課
問い合わせ先：043-223-2062

房総半島に来訪者を呼び込む重要な観光資源であるいすみ鉄道に対し、令和6年10月の脱線事故からの復旧費用や運行等に係る経費の一部について、関係市町とともに助成します。

- 1 基盤維持費補助 196,260千円 (R7 81,155千円)
※うち、復旧工事費用は、約1.2億円
[補助対象経費] 当該年度の鉄道基盤維持費、固定資産税、減価償却費
[補 助 率] 補助対象経費の1/2 (ただし、市町の補助金の合計額の範囲内)
- 2 運行経費補助 145,000千円 (R7 51,300千円)
※うち、令和7年度代行輸送費用相当分は、約0.9億円
[補助対象経費] 前年度の鉄道事業損失額－付帯事業利益額の1/2
[補 助 率] 補助対象経費の1/2 (ただし、市町の補助金の合計額の範囲内)



- 【参考】鉄道輸送対策事業費補助（いすみ鉄道分） 43,470千円 (R7 6,600千円)
※うち、復旧工事費用は、約0.4億円
国及び関係市町と協調して、安全性向上に資する設備整備等を支援する。
[補助対象経費] マクラギ・踏切・信号設備等の整備、車両更新・検査等に要する経費



《いすみ鉄道脱線事故 復旧事業費》

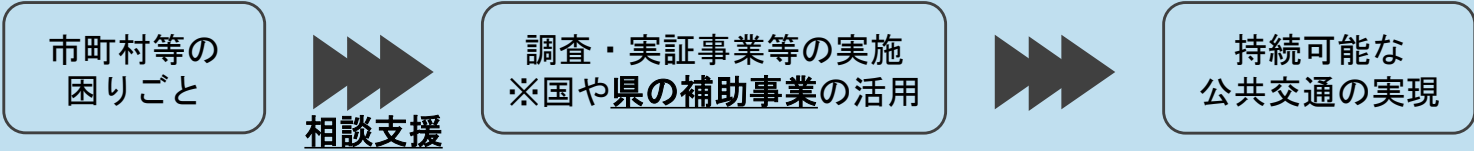
- ・大原～大多喜駅間の復旧事業費は代行輸送費用も含め、約17億円を見込んでいる。
(令和6年度約2.5億円＋令和7～9年度約14.5億円)
 - ・令和8年度は、復旧事業費として、約5.8億円を見込み、県負担分として約2.5億円を計上している。
- (参考) これまでの予算措置状況 計7.5億円
- ・令和6年度補正予算：基盤維持費補助2億円 (県1億円＋関係市町1億円)
 - ・令和7年度補正予算：基盤維持費補助3億円 (県1.5億円＋関係市町1.5億円)
- ※上記のほか、大多喜町鉄道経営対策事業基金2億円や、令和6年度及び令和7年度当初予算の一部約0.5億円等も復旧事業に活用。

担 当 課：総合企画部交通計画課
問い合わせ先：043-223-2062

概要

地域公共交通の維持・確保に向けて、より持続可能性の高い公共交通への再構築（リ・デザイン）を推進するため、地域の実情に応じた路線の再編や交通モードの転換などに取り組む市町村や公共交通事業者等に対し、支援を行います。

事業イメージ



自動運転バス（横芝光町）

1 市町村等への補助（補助事業） 110,000千円

市町村や交通事業者等が実施する調査や実証事業等に対し、補助金を交付します。

- 補助率等:1/2（補助上限:10,000千円）
- 補助対象経費
地域公共交通の再構築や交通空白の解消に向けた取組に要する費用
- 補助対象事業
 - ① 交通再編事業（路線の再編や新たな交通モード導入など）
 - ② 交通DX事業（新技術・デジタル技術の導入）
 - ③ 路線維持事業（路線再編等に向けた検討の間、現行バス路線を維持）

2 再構築に向けた検討支援・相談（相談支援事業） 40,000千円

市町村や交通事業者等から寄せられる各種相談に対して、専門的な知見を有するコンサルタントとともに、企画立案や施策実行に向けたサポートなど、課題に応じて支援を行います。

<相談支援例>

- 現地訪問及びヒアリングによる課題把握・分析
- 需要調査や実証実験といった施策実行に向けたアドバイスや推進サポート など

